

# 事業概要シート

<b>施策</b>	0103	子育てを支える環境の充実	<b>&lt;&lt;&gt;の金額</b> 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く				
<b>事業名</b>	こどもを事故から守るプロジェクト事業	その他の見直し	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"><b>予算額</b></td> <td style="width: 50%; text-align: right;">779 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">&lt;&lt; 789 &gt;&gt;千円</td> </tr> </table>	<b>予算額</b>	779 千円		<< 789 >>千円
<b>予算額</b>	779 千円						
	<< 789 >>千円						
<b>事業期間</b>	平成22年度 ~		<b>財源内訳</b>				
<b>根拠法令要綱等</b>	健やか親子21計画、消費者安全法、消費生活活用製品安全法						
		国庫支出金		千円			
		県支出金		千円			
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	779 千円				

**【事業の目的・概要・対象】**

**【事業目的】**

日常生活に潜在する子どもの事故（乳幼児・児童の転倒・転落、遊具の欠陥、異物の誤飲など）の発生要因を排除し、子どもの安心安全な生活環境の整備を図る。

**【対象】**

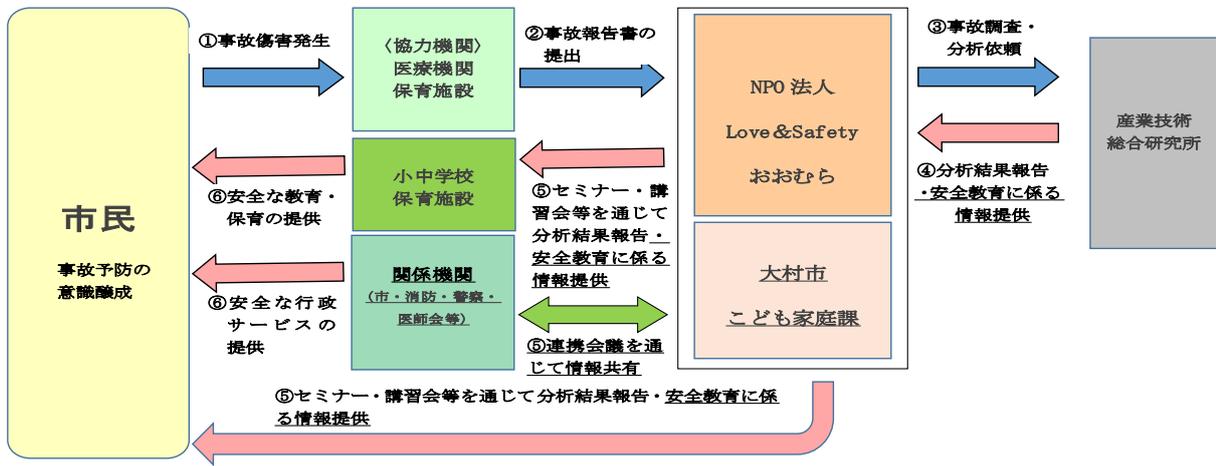
乳幼児・小中学生、保護者、教育・保育施設従事者等

**【事業概要】** ※下線部は見直し内容

NPO法人Love&Safetyおおむらに業務委託し主に以下の事業を実施

- (1) 教育・保育施設における子どもの事故予防セミナー・講習会の開催（年2～3回）  
保育施設等において、安全管理の中心的存在になる職員を育て、事故発生時には適切に対応できる体制を構築していくことを目的として実施
- (2) 小学校児童向け安全教育プログラムの実施（年5～6回）  
市内小学校高学年児童に対し防災・防犯・安全等に関する教育プログラムを実施し、修了者を「大村ジュニア衛り（まもり）人」として認定することで、子どもたちが自らの命を守り、地域を守る力を育み、地域社会全体の安全文化の醸成を目指す。
- (3) 子どもの事故に関する情報の収集及び分析  
市内の医療機関や保育施設等関係機関から子どもの事故に関する情報を収集し、専門の研究機関（産業技術総合研究所）で事故分析を実施、分析結果は市HP等により市民に周知する。
- (4) 子どもの事故の未然防止及び事故後の対応に関する周知・広報活動
  - ・赤ちゃん訪問時に誤飲予防啓発バッジを配布
  - ・親子で楽しく事故予防を学ぶイベント（Love&Safetyフェスタ）を開催（年1回）
  - ・市HP等で子どもの事故予防に関する情報発信を行う
- (5) 関係機関との連携会議を開催（年1～2回）  
市、医師会、警察、消防署等による連携会議を開催し、こどもの事故予防に関する情報共有を行う

**こどもを事故から守るプロジェクト事業のイメージ図** ※下線部は見直し内容



**【背景】**

子どもの死亡原因の上位を占める「不慮の事故」は、予測できない事故ではなく、科学的根拠に基づく事故原因の調査究明などで予防可能であり、子どもを事故から守る社会のシステムづくりが必要であるという市内小児科医の問題意識がきっかけとなり、平成23年3月、市、医療機関、消防署等の関係機関で「こどもを事故から守るプロジェクト事業」が発足、市全体でこどもを事故から守る環境づくりが始まった。平成25年1月には事業の発展を目的にNPO法人Love&Safetyおおむらが設立され、平成28年3月には、事業の更なる推進のため、市と同法人による「子どもを事故から守るための連携に関する協定」を締結した。令和8年度からは、事業効果を高めるため、小学生に対する安全教育を実施するとともに、関係機関との情報共有、市民への周知・啓発の充実・強化を図る。

<b>担当課</b>	こども未来部こども家庭課	<b>課長</b>	石丸 博子
<b>担当者</b>	中村 宏昭	<b>問合せ先</b>	54-9100

## 事業概要シート

### 【活動指標】

指標名		単位	R 6 (実績)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)	R 10 (計画)
①	こどもの事故予防に関するセミナー・講習会の開催回数	回	5	4	8	8	8
②		計画値					

### 【成果指標】

指標名		単位	R 6 (実績)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)	R 10 (計画)
①	認可保育施設における事故発生率 (事故報告件数÷全入所者数×100)	%	2.9	2.8	2.6	2.4	2.2
②		計画値					

### 【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	合計
事業費	789	789	789	779	779	779	4,704
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源	789	789	789	779	779	779	4,704
人件費	364	753	747	1,121	1,121	1,121	5,226
職員(人)	0.05人	0.10人	0.10人	0.15人	0.15人	0.15人	0.70人
時間外勤務(h)	0h	13h	10h	15h	15h	15h	68h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	1,153	1,542	1,536	1,900	1,900	1,900	9,930

妥当性 (市の関与)	次世代の大村市を担う子どもたちの安全安心の確保のため、子どもを事故から守る環境づくりへの市の関与は妥当である。
有効性 (施策貢献度)	子育てを支える環境の充実に資する事業であり施策への貢献度は高い。
効率性 (コスト)	プロジェクトの立ち上げ段階から長年事業に取り組んできたNPO法人Love&Safetyおおむらへの業務委託により、効率的かつ効果的な事業を実施することができている。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり